



井田山



< 川崎市立井田病院からのお知らせ >

第37号 平成21年1月30日発行

発行責任者 坂本 政隆 編集 川崎市立井田病院 広報委員会
川崎市中原区井田2-27-1 電話 044-766-2188 (代)
ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/83byoin/ida/index.html>

基本理念 「井田病院は、自治体病院として、市民から信頼され、
市民が安心してかけられる病院づくりを目指します。」



明けましておめでとうございます

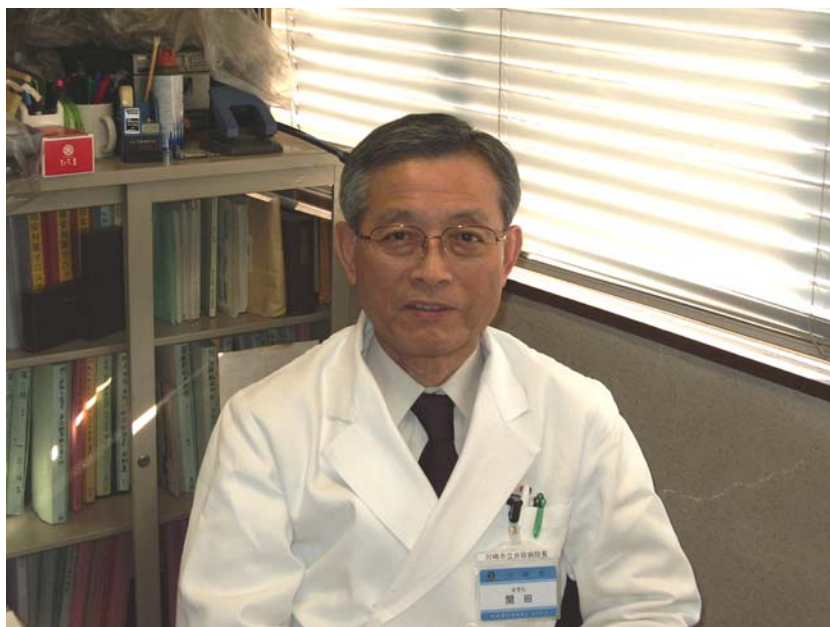
井田病院院長 関田 恒二郎

新年おめでとうございます。

経済不況がさらにひどくなってきている中では、心から祝うことができるわけではないのですが……。経済あつての医療とされますが、健康と安心あつての経済とも言えます。病院は病める働き手や家族に対処するのが仕事です。どんなに不況でも、病院は市民にとって最後の砦です。

井田病院では3月に業務や診療情報の一部電子化が開始されます。患者様には一時的にご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、十分な準備をすれば乗り切れると思われ、定着したあかつきには目に見えない部分でのサービス向上がもたらされるでしょう。

病棟建てかえは更に歩を進め、仮設病棟の設営に続いて旧病棟の取り壊しが始まります。その準備としていくつもの職場と物品の引っ越しをしなければなりません。



今年も多事多難の医療が予測されます。職員一同力を合わせて地域のニーズに応え、良い病院をめざしていきたく思いますので、一層のご理解とご支援を、本年もよろしくお願い申し上げます。

《新任部長挨拶》

ひとりひとりに最適な治療を



リウマチ科部長 岡野 裕

昨年 10 月にリウマチ科部長として赴任いたしました。

関節リウマチ、膠原病をはじめとする自己免疫疾患を専門とする内科医です。

これまで治療に難渋してきた関節リウマチですが、近年新しい治療薬が次々と開発されています。患者様はつらい関節の痛みから解放され、中長期的にも関節破壊の進行をくい止めることが出来る時代になってきました。

当院にはリウマチ専門医が 4 名います。患者様の様々な悩みや疑問に対してお答えし、ひとりひとりに最適な治療をしてみたいです。関節リウマチでこまっていることがありましたら是非リウマチ外来を受診してください。

地域の皆様が健やかに過ごすことが出来るように、お役に立てればと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

耳鼻咽喉科・頭部外科領域を中心に 心身両面からのアプローチを目指して



耳鼻いんこう科部長 浦尾 弥須子

昨年 11 月、井田病院に再赴任しました。20 年近く前、大学病院での研修期間を終えてすぐに赴任したのがこの井田病院でした。約 1 年半お世話になった後、15 年間済生会病院に勤務。2005 年 1 月に部長職を辞してドイツに留学、昨年 10 月末に帰国しました。今まで頭頸部腫瘍の治療を中心として耳鼻咽喉科全般にわたって診療してきましたが、この領域は生きていく為に重要な、食べたり飲んだりや呼吸する領域の入り口にあたり、声を出したり話をする機能、あるいは五感のうち 3 つの感覚領域（聴覚、味覚、嗅覚）や平衡器官なども含まれています。さほど大きくない領域ながら、個性的なさまざまな機能が複雑に共存していて、心身相関から起こる病気や、がんを初めとして心身相関を基礎においた全人的な治療やケアが必要な状況が多く見られる領域でもあります。これに対して心療内科、漢方医学、ホリスティック医学などを学んだ後、一般西洋医学をベースに全人的で自然な治療をさらに加えることで患者さんの QOL を心身共に増進する医療（アントロポソフィー医学）の理論と実地を、それが実際に行われているドイツ、スイスの病院で約 4 年間にわたって学んできました。保険システムの違いなどから、現在日本でその治療をそのまま再現することは難しいのですが、何らかの形で役立てられないかと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

《患者満足度調査のご報告》

◎ はじめに

平成20年12月に病院利用者の皆様にアンケート調査を実施させていただきました。

この調査は、患者様・市民の方が市立病院に求める使命・役割を明確にさせていただくとともに、患者様の満足度を明らかにすることにより、病院職員の資質向上と病院機能の向上及び病院健全化のための資料とするものです。

◎ 調査実施対象

| | | |
|-------|--------------------------|----------|
| 外来患者様 | 平成20年12月 9日(火)～12月10日(水) | 回答者 339人 |
| 入院患者様 | 平成20年12月11日(木)～12月22日(月) | 回答者 133人 |

◎ 回答結果

外来患者様への調査では、井田病院の診療圏である中原区、高津区、港北区で患者様全体の75%を占めています。患者様の年齢層は、60歳代以上の方が全体の75%を占めております。通院歴も5年以上の長期通院の方が59%となっています。

外来中の診療については、満足していると回答した方が84%になっています。不満と答えられた方は16%でしたが、その理由として、85%が診療・治療以外の不満でした。特に交通機関の不便さと診療・会計等の待ち時間の長さが多数を占めています。

入院患者様への調査では、外来に比べ中原区、高津区、港北区の患者様の割合が64%で、外来患者様よりも11%低くなっております。

入院中の診療については、満足していると回答した方が96%になっています。これは、看護師の対応に「満足との回答」が64%、「特に不満な点はない」が30%、医師の対応が「良い印象である」との回答が64%、「特に不満な点はない」が32%となっていることから、医療従事者と患者様との信頼関係における満足度が表れているものと考えております。

今回の調査では、外来・入院と共に、自由記入欄を設定しました。ここでは、診療に対する感謝のお言葉も数多くいただきましたが、「施設・設備」に関する不満や要望の他、「待ち時間の解消」や「診療科を増やしてほしい。」といった要望が多くありました。

(井田病院サービス向上委員会)

◎ 患者満足度調査の総括・御礼(サービス向上委員会委員長 副院長 池田久子)

この満足度調査は、毎年11月～12月にかけて実施しており、定期的に行うようになってからは6年目を迎えました。毎年、当院の特徴として感じるのには、特に職員側からアンケート用紙を配布しなくても、患者様自らが積極的に記入する姿が非常に印象的なところです。今回は、アンケートの最後に自由記入欄を設けましたが、質問が10以上にも及ぶ、患者様にとっては、いわば「面倒な作業」であるにもかかわらず、外来・入院共に全患者の35%の方にご記入をいただきました。それだけ当院に対する期待は大きいものであり、これらは患者様の切実な声として、真摯に受け止め、改善に結びつけなければならないと考えております。現在、同調査であげられた諸問題は、院内の多職種から構成されるサービス向上委員会の中で、対策を検討しているところでございます。

また、今回は、上記のとおり、外来患者様から84%、入院患者様から96%の満足と高い評価をいただきましたが、その影には病院ボランティアの力が大きく貢献していることも、自由記入欄等を通じ、あらためて実感させられました。

今後も職員一体となって、病院の基本理念である「市民に信頼され、市民が安心してかかる病院づくり」を目指して参りますので、ご協力をお願い致します。

患者の皆様におかれましては、ご協力に感謝いたします。

市民公開講座のお知らせ

演 題 「わかりやすい胃がんのお話」

講 師 川崎市立井田病院 外科医長 中村 威

日 時 平成 21 年 2 月 10 日 (火) 午後 1 時 30 分から午後 3 時まで

場 所 中原区役所 5 階 502 会議室

(問合せ先 がんセンター)

《院内行事予定 (1 月 30 日以降)》

院内コンサート 3号棟 1階玄関ホール

2月13日(金) 16時30分から17時30分「管楽器のタベ」

【オークウィンド シンフォニー 志水栄雄さん】



院内展示会 3号棟 1階薬局前ホール

1月23日(金)から2月20日(金)「写真展」

【元住吉 photo クラブ】

2月20日(金)から3月19日(木)「絵手紙展」

【(院内ボランティア・市民)代表 加藤綾子さん】

3月19日(木)から4月17日(金)「写真展」

【岸本登巳子さん】

(問合せ先 市民交流委員会 小川)

【編集後記】

平成 21 年が始まりました。

新年にあたり、皆様におかれましては、「今年はこれをやろう。今年こそ〇〇〇を。」といった新たな目標・決意をされていることと思います。実り多き一年となりますよう、願っております。

井田病院もいよいよ再編整備に向けての第一歩として一部病棟の解体工事が始まります。

解体工事に伴い、患者様をはじめ地域の皆様にはご迷惑をおかけすることと思いますが、職員一同、知恵を出し合って皆様の満足度を下げないように努力してまいります。

今年も井田病院をよろしく願いたします。(S)

